

とよ・みち 美肌通信

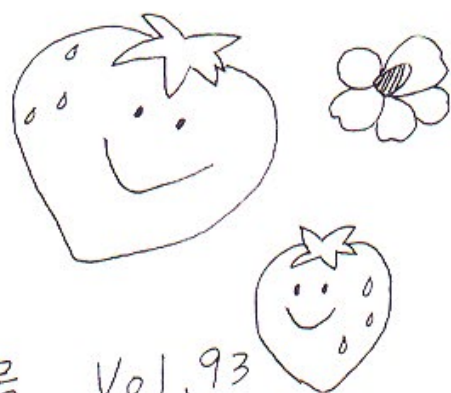
4月号

た
ら
し
は



Vol. 93

4月号



とよたち美肌通信 4月号 Vol.93

今月号の表紙は、たちかわ皮膚科の
院長先生と、元気なキリンを描いて
くれました！！

実は、2月号を描いてくれた女の子の妹ちゃん
なのです 😊♡♡

折り紙や、おままごとが大好きで、

笑顔がかわいい女の子です！ ありがとう
ございました！

院長はじめ スタッフ一同

いより感謝いたします！！！！

某雑誌のインタビューで記者が、ある女性に次の質問をした。仕事で結果を出せる人とそうでない人との差はどこにあるのでしょうか。これに対して、全世界の生命保険営業のトップクラスで構成されるMDRT(Million Dollar Round Table)の終身会員の資格を持つ船津知穂氏は次の様に答えている。「込める」という事だと思います。どれだけ「込められたか」。

自分が希望していなかった仕事、事情があってやむなく就いた仕事であっても、一所懸命に打ち込んでやっていたら、絶対その人の天職になる。どれだけ魂を込めて一つ一つ真剣にやっているか、その量と質が高い人程成功するでしょう。それこそ「込めた者勝ち」だと思います。更に船津氏はこう続けます。

私は自分と関わる人、出会った人を大切にする事を心掛けています(中略)。そういう生き方をしていると、自分が辛い時、苦しい時にそれを乗り越えていく力を周りが与えて下さる。以前、お得意様から「嫌なこと程先に手をつける」という言葉を教えて頂いたと伺います。

困難に直面した時、てついつい辛い事は後回しにしたくなったり 避けて通ろうとしたりしがち。しかし、そんな時こそ正直に真先に対応すると、そこから事態は好転していくと 船津氏はいいます。

仕事をしていれば「辛い事はある。いや多くはそれだ」と私は思う。先賢の思想家、安岡正篤氏は「人生はしばしば出合わぬばならぬ関所を幾つも通り抜ける旅路である」と説いている。関所を越えることで、人生は開け 今まで見えなかった新しい世界が見えてくるものである。決して逃げていては「感動」はない。再度 船津氏の話に戻るが、私が教えられたのは 絶望の淵から救われた人には共通するものがある。そこには必ず「言葉」があると思う。そうゆう言葉の数々を財産に難関を乗り越えていきたいものである。

院長 拝